

香美町教育環境会議（小代中学校区）意見交換の要旨 H26. 8. 7

参加者の質問・意見	回答・コメント
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小代小学校と中学校の教育の取組は素晴らしい。自分の子ども達は中学校まで精一杯の教育をしていただいた。近隣の地域で統合の話を聞くが、近い将来に小代も統合されるか心配である。今日のプレゼンを聞き、世界的にみて一学級の人数が小代の人数と同じぐらいで安心した。</li> </ul>	
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は学校の統合は反対である。過去を振り返ると村岡中学校の統合の際、当時どのような話があったのか？また、小代はなぜ統合されなかったのか教えてほしい。</li> <li>・子どもが幼い頃にいじめにあったり、つまずいたりした時に、小代区では中学校卒業まで続くので心配だ。へき地保育所が小代認定こども園に統合された時も同じ気持ちだった。</li> <li>・小代小を卒業しても小代中に進学するとは限らない。現在、小代から香住第一中学校と村岡中学校に通えているがどんな基準があるのか？</li> <li>・運動が苦手な子どもは部活動の選択肢がない。ほかの学校に進学できるのか？</li> <li>・学校のプレゼンで「小代学園」（認定こども園、小学校、中学校の一貫化教育）の話があったが、強烈な印象だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村岡中学校の統合の話は、合併以前の旧村岡町当時からあった。町合併後も引き継がれてきて、新町長が中学校の統合をPTAに打診し決定した。小代中に入らなかった。旧美方町の教育長だった時に、議会でも小代中学校は統合しないと答弁してきた。</li> <li>・いじめはあってはならないと国の法律や町の条例で整備されている。いじめにあった子どもは悲しい思いをし、転校する時代もあったが、今は加害者の子と親が責任をとらないといけなくなっている。</li> <li>・校区は現住所で決まる。住所を異動し校区外就学の要件を満たしているものについては、校区外就学は可能である。</li> <li>・部活動の選定の基準は4つの中学校の校長会で決めている。部活は生徒指導を含めて教育課程の一貫である。小代中学校は保護者と話し合って選定している。どうしても選択できないという場合は、小代中学校以外の学校に進学している例もある。</li> <li>・運動が苦手な生徒はたくさんいる。きつい部分もあるが、精神面を鍛える中学の目的、教育的な効果もある。</li> <li>・地方分権も進み、今後もますます進む。まだ、制度化されていないが、日本の国の教育は制度として小中一貫教育に向いている。地域によって、できることとできないところ、あえて全てがそうしなければならないのではなく、「ならでは」の教育にそういうものが入っている。一貫教育も地域で選択することができる。そういう意味では小代は「ならでは」の先進的な教育に取り組んでいるといえる。</li> </ul>

<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校が統合したら不安であるが、小規模校として小代小・中学校の取り組み、教育環境の素晴らしさを知り安心した。小・中連携の存続を希望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心強いご意見ありがとうございます。小・中学校9年間はもちろんのこと、認定こども園との連携も大事にしたい。</li> </ul>
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育は人が大事である。教職員がどれだけ熱意、使命感を持っているか。技術的なこともよりも大事だと思うがいかがか？教職員をどのように指導しているか教えてほしい。</li> <li>・良いことをたくさんやっている。ふるさと教育の充実に力を入れているが、なぜ、ふるさとに人が帰ってこないのか？地域、行政の努力が必要ではないのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員は頑張っている。プレゼンでもあったように小代中学校の先生が出張命令で小代小学校の英語の指導に出向いている。教職員の力が子どもを伸ばす最大の力。しかし個を磨くことについては力不足であるが、今、スタートしたところだと思っている。これからである。</li> <li>・先論ではないが、子どもを地元に残そうと思う親が少ない。昨年のアンケートでは、「子どもが町外に住んでも良いと思っている」と回答した親が5割以上いる。ふるさとに残って欲しい親はわずか十数パーセントである。今のふるさと教育で変えていかなければならない。行政よりも親がそういう教育をしているのではないか。地域の活性化のために教育委員会は考えているし、挑戦している。</li> </ul>
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・高、こども園も入れた一貫教育は大事である。</li> <li>・学校形態として小・中・高、こども園を一か所に集めて教育できる施設があればいいと思うがいかがか？また、老人ホームやいこいの里などコングロマリット(複合企業体)を作ってはどうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のプレゼンのような一貫化教育、カリキュラムの一本化について、国はそのような方向で進めている。5年以内にはそうなると思っている。一貫化教育は必要で高校のことも視野に入れている。中学校卒業時に生徒がどう感じているか、一度、尋ねてみたい。こども園・小・中の連携を今年から考えている。国も大きくそちらの方向に行くと思っている。</li> <li>・国も県も小代区の施設は隣接していると認めている。現段階で一貫化教育は進んでいる。</li> </ul>
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジプランは面白いと思った。中学校でもやって欲しい。心の意欲が掻き立てられる材料になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に小規模小学校が9校あり、各校とも月に一度授業としてチャレンジプランを行っている。また、幼稚園と保育所、こども園との交流事業である「就学前わくわく交流会」も行っている。自然学校も他校と合同で行うなど、多くの子どもとの出会いの場を設けている。仲間づくりや勉強の工夫にも取り組んでいる。</li> </ul>

<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統合には大反対である。学校は無くしてはならない。過疎になるし、若い人も出ていく。地元の人を大事にして欲しい。私自身ふるさと教育には強い気持ちがある。知人も地元に戻りたいという気持ちはあるが、働く所がないだけ。子どもたちも自分でふるさとのことを考えられるよう、大人と一緒に育てたい。</li> </ul>	
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の子どもが長男小3、長女小1の時、Uターンし転入してきたが、長女は6か月程度で学校に行くのを嫌がった。こども園から中学校まで同じメンバーで固定化されたら、ずっと同じポジションになる。大丈夫かなと思う。運動が苦手の子どものための文化系のクラブの受け皿はどうか？</li> <li>・県内の各地を回ってみて、小学校が無くなった地域は必ず衰退している。小規模になっても小代区に学校を残してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定化しない方法を考えないといけなが、村岡だったら大丈夫なのか？香住小は固定化がないのか？大きい所へ行ったら解決するということではない。豊かになり少子化になった。人数が少ないと過保護になった。切磋琢磨は人と切磋琢磨させるのではなく子ども自身が自分を磨けるような力をつけなければならない。今、住んでいる所で切り拓くしかないし、現実的には問題はあるが乗り越えなければならないと考えている。</li> <li>・国は12学級から18学級が標準規模という考えであるが、日本の小学校の46%は11学級以下の小規模校になっている。国は交通機関の利用で通学時間が30分の範囲まで学校の選択が広がった。香住に1校、村岡・小代に1校といった具合。地域を引き継ぐのは当たり前で、自分の子どもは自分で育てる。せめて小学校までは地域で育てるとするのが教育長の思いである。</li> </ul>